

住まいのしおり

この度は、ご入居ありがとうございます。この「住まいのしおり」は、共同住宅で快適に生活をしていただくため、マナーやモラル、使用法の注意事項等をまとめたものです。また、入居者様間の個人的な苦情などは受付けておりませんのでご了承ください。

ゴミの取り扱いについて

ゴミ収集は一般的に「家庭ゴミ」、「資源ゴミ（不燃物ゴミ）」、「大型ゴミ」に区分されます。分類・収集方法は地域により異なりますが、地域のルールに従い指定された場所・曜日・時間を守り決められた通りに出して下さい。（収集日はゴミカレンダーでご確認下さい。インターネットでも閲覧・印刷が可能です）

一般
ゴミ

粗大
ゴミ

有害
ゴミ

資源
ゴミ

紙
パック

段
ボール

紙類

プラスチック

古布

騒音について

共同住宅ではどれだけ注意していても「生活音」は避けられません。個人差はありますが、ある程度は許容すると共に、必要以上の騒音を出さない気遣いも大切です。早朝・夜間は特にご注意ください。洗濯や清掃、テレビ・音楽の視聴は時間帯によっては騒音となりますので、他の方の配慮を心掛けて下さい。

ペット飼育について

「ペット飼育が禁止の契約」は、一時的な預かりも含めてペット飼育を禁止しております。決められたルールに従って、お部屋をご使用下さい。

共用部分について

通路や階段などの専用部分以外は入居者全員の「共用部分」です。私物やゴミなどを放置しますと、他の方への迷惑や災害時の緊急時避難経路の妨げとなるため、絶対に置かないで下さい。万が一、そのことが原因で事故が起きた場合、損害賠償の対象にもなりますので、ご注意ください。

駐車場・駐輪場について

指定された場所のみをご使用下さい。違法駐車など、最悪は警察への通報対象にもなります。駐車場におけるトラブルは、契約者様の責任となり、貸主及び管理会社は関与致しませんのでご了承ください。

防災について

就寝時や外出時の火元の確認をはじめ、暖房器具の使用については十分注意してください。地震や津波などの自然災害時も避難場所の確認等、日頃からの防災対策をしておくことで、被害を少なくすることができます。

防犯について

泥棒や押し売りなどから身を守るため、出掛ける時だけでなく部屋にいる時も玄関の鍵をかけるようにすることで被害を抑えることができます。また、旅行や帰省などで長期にわたりお部屋を留守にする場合も、各自で防犯対策を行うようお願いします。鍵を紛失した場合は、交換が必要となりますので、必ず貸主または管理会社へ連絡をお願いします。

住まいのしおり

入居中の軽微な修繕（消耗品）は、お客様費用負担で行っていただいております。また、設備の故障の原因になる場合があります。

水栓パッキン

水漏れを発見し、そのままにしておくと被害が拡大する原因となります。例えば、『キッチン水栓の水漏れを放置したため、漏れた水が床に浸透し、フローリングの張り替えが必要となった。』などがあります。その場合、善管注意義務によりフローリング張り替え費用がお客様負担になることもあります。パッキン交換は一般的に「軽微な修繕」となりますので、発見次第、修繕をするようお願いします。

各排水口

排水口に目詰まりがあると漏水や詰りの原因となります。例えば、『浴室の排水トラップにゴミが溜まり、水が流れずに洗い場へ溢れ出した。』などがあります。浴室だけでなく、各排水口の蓋を開けて中までこまめに清掃をお願いします。

トイレの詰り

タンク内に異物を入れたり、トイレットペーパーを大量に流したりすると、詰まりの原因となります。例えば、『タンク内に節水用のペットボトルを入れたため、チェーンが引っ掛かり水が流せなくなった。』などがあります。トイレを流すには一定以上の水圧、水量が必要です。使用方法を守るようお願いします。

建具調整等

扉の開閉がしづらい、扉が枠に当たるなどの不具合の原因は、扉を支えている兆番のネジの緩みや可動部の防錆円滑剤（油）が効いていないことが多く、お客様でお手入れができる部分です。扉の開閉時に音が出る、鍵の回りが悪い等の場合は、ネジを締めたり、油を差したり、点検をしてみるようお願いします。

換気

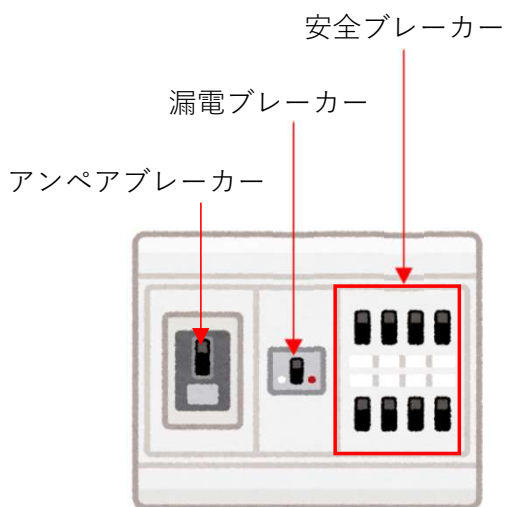
梅雨の時期や結露の発生しやすい冬場には、押入れや家具の裏側、水気の多い浴室など「カビ」が発生することが多くみられます。カビの予防のためには、換気を十分行い、家具なども壁から少し離して置いたり、収納部の扉なども少し開けて風通しを良くすると効果的です。また、窓などの結露はこまめに拭き取りをお願いします。

各設備のお手入れ

室内にはキッチンなどの備付け設備が多々あります。各設備にあったお手入れをせずに使用を続けた場合、色々な不具合が起きてしまいます。例えば、キッチンのステンレスの汚れは、放置しておくと錆びることがあります。また、換気扇やエアコンなどの汚れは、放置しておくと故障の原因にもなり、正しく作動されません。こうした不具合が起きてからでは、時間も費用もかかります。場合によっては、お客様負担になることも少なくありません。日頃からのお手入れをするようお願いします。

住まいのしおり

電気

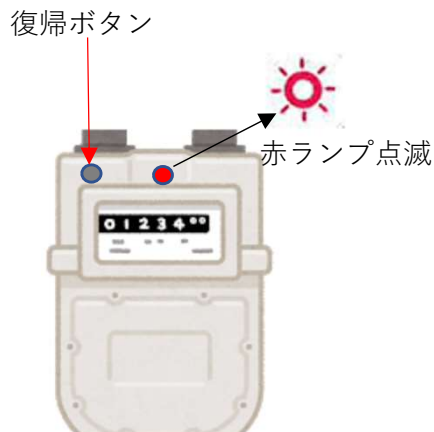


・アンペアブレーカーが落ちる要因としては、一度に電気を使いすぎたため、契約アンペア数を超えてしまったというものが一番多く、アンペアブレーカーが落ちてしまうと、家全体の電気全体が使用できなくなります。復旧する方法は、アンペアブレーカーを上げるだけですが、使用していた電化製品等のスイッチをいったん切るようにしてください。

・漏電ブレーカーが落ちる要因としては、漏電の恐れがあるので復旧は慎重に行ってください。復旧する方法は、漏電ブレーカーを落としたまま、安全ブレーカーを全て落としてください。その後、漏電ブレーカーを上げてから、安全ブレーカーを1個ずつ上げていき、どの安全ブレーカーの時に漏電ブレーカーが落ちるかを確認し、管理者へ連絡を入れて下さい。

・安全ブレーカーの落ちる要因としては、該当するコンセントに挿してある電化製品の電気容量オーバーというものが多いため、該当の電化製品をコンセントから抜いて下さい。復旧する方法は、安全ブレーカーを上げるだけですが、使用していた電化製品等のスイッチをいったん切るようにしてください。

ガス



・ガスを長時間使用した場合など、安全のため、ガスメーターが自動的にガスをとめることがあります。ガスが急に使用できなくなった場合は、一度ガスメーターを確認して下さい。赤ランプの点灯がある場合には、室内のガス栓を閉め、ガスくさい時やガス漏れ警報器が鳴った時などは、窓やドアを開けて十分に換気を行ってください。その後、ガス会社へ連絡を入れて、指示に従い、復旧作業を行うようにして下さい。

水道



・水道水栓や給水管より水漏れした場合など、まずは水漏れを起こした箇所の止水を行ってください。各箇所の止水栓の場所が分からない時は、お部屋全体の給水の元栓を止めて下さい。元栓の場所は一般的には水道メーター横にあります。その後、水漏れ箇所を特定し、処置を行った後、元栓を開けて復旧して下さい。ご自身での処置が難しい場合などは、専門業者や管理者へ連絡を入れて下さい。